

感染実験は、何を意味しているのか

今回のウイルスの病原性を示すために、動物への感染実験をしたという科学論文がいくつか存在する。実験に用いた動物は、アカゲザル(4)、カニクイザル(19)、イヌ(17)、ネコ(13)、ハムスター(15)などである。しかし、感染に用いたウイルスが純化されたものであるという記載のある論文は見あたらない。また感染に用いたウイルスの遺伝子と病変部位からのウイルスの遺伝子が同一であるという確認がされたものがない。これは、病原体確認の原則を示したコッホの4原則の後半の2項目に相当する重要な要素である。これらの実験を行った研究者が、コッホの4原則を知らなはずはない。

それにもかかわらず、これらの重要事項の確認を行っていないのは、どういうことであろうか。遺伝子配列の確認は、それほど難しいことではないはずだが、データを示していないのはなぜか。

今回問題になっているウイルスに、はたして強い病原性があるのかという点に関して、疑問の声が上がり始めている。動物実験は、このウイルスの病原性を明らかにする重要な実証実験である。

そのような重要な研究であるが、最も重要なデータであるはずの感染に用いたものと、病変部位から採集されたウイルスの同一性の確認がされていないのである。

病変を引き起こしたウイルスは、感染に用いたウイルスとは異なるのか。それとも、病変を引き起こしたウイルスは、実験に用いた動物が以前から持っていたウイルスなのか。ウイルス同定がされていないのは、うっかりミスではないだろう。疑問は深まるばかりである。

中国の論文の遺伝子との同一性を言えるのか

中国の論文の遺伝子を持ったウイルスの存在の証明は、クローン化によりウイルスを純化した後に、遺伝子配列の決定により完了する。それまでは、この遺伝子を持つ

たウイルスがこの世に実存するとは言えない。また、このウイルスの病原性は、いまだに確認されていない。あくまで仮説のレベルに留まっている。実証実験に不備があるためだ。そしてPCR検査で確認しているのは、この中国の論文の遺伝子の一部との類似性である。類似性を確認しているのは、ゲノム遺伝子の300分の1が類似しているに過ぎない。

このような全体の比較なしに一部だけの類似性を根拠に同一性を主張するのは、論理的に無理がある。全体の中の部分の比較で大きく異なれば、全体の同一性の否定に使うことはできるかもしれない。しかし、全体の中の部分の同一性で、全体の同一性を証明することはできない。PCR検査では、増幅できる遺伝子の長さに限界があるために、遺伝子の一部を調べることはできないのである。したがって、中国の論文の遺伝子との同一性を確認することには、限界があるのだ。

中国から新しいウイルスがやってきたと言えるのか

今回のPCR検査は、中国からやってきた感染症の病原体ウイルスを検出することが目的ということになっている。しかし、PCR検査によって調べているのは、中国のグループが発表した論文に関係する遺伝子の一部との類似性である。実際のウイルスを確認しているわけではない。ウイルスの実在も確認されていないし、ウイルスが中国からやってきた証拠もない。昨年までに同じプライマーセットを使ったPCR検査をやっていないので、今年になってから、ウイルスが中国からやってきたという証拠もない。

このように、PCR検査では、今年(2020年)になって中国から新しくやってきたウイルスであるという直接的な証拠を示すことは全くできないのである。PCR検査の陽性者が多く発生している事実からは、新しい感染症が発生しているとは言えない。

もし、PCR検査が確実に病原性ウイルスを検出しているのなら、感染症の診断に使えるかもしれない。しかし現実には、PCR検査は何を検出しているのかが不明であるというのが実態である。何を検出しているのかわからないPCR検査の結果からは、

何も言えないのは当然である。PCR検査は、中国の論文と関係する遺伝子の一部と似た遺伝子を見つけているだけである。これが、どのような意味があるのかについては、いろいろと議論があるかもしれないが、何とも言えないという結論が妥当なところではないだろうか。

PCRは、同定という目的に使用できるのか

PCR検査は、ゲノム遺伝子の同定に使えるという前提のもとにPCR検査が行われている。しかし、実際にはPCR検査は、原理的に全体の同一性を証明できないのだ。部分の一致が全体の同一性を証明できないということは、自明であろう。しかも、その同一性を証明しようとする対象物の病原性も確認できていないとするならば、PCR検査は一体何を目的としたものなのだろうか。このような根本的なところでの議論がまったくされてこなかったのだ。それにもかかわらず、国民の要望に応える形でPCR検査の拡充がなし崩し的に行われてきたのである。

本来は、何のためにPCR検査をするのかを、根本的な原理にさかのぼって、検証しなくてはいけないのだ。PCR検査で陽性とは、一体何を意味するのか。これに対して、十分な答えができる人は、それほど多くはないだろう。本書では、基本的にPCR陽性とは、一体何を意味するのかをできる範囲で論じている。しかし、まだまだ不十分なところが多いのだ。中国の論文に関係した遺伝子とよく似た遺伝子の断片が見つかったというだけで、なぜ大騒ぎをしなくてはいけないのか。それは、おそらくPCRの結果が、中国武漢の路上でバタバタと倒れる人や、病院の廊下で倒れた患者のイメージとオーバーラップしてしまうからではないだろうか。何の因果関係もないかもしれない2つの現象を、イメージだけで関連づけていないか。本当は、両者の間に科学的な根拠に基づいて、関連性があるのかを確認しなくてはいけないのだ。

PCR検査で陽性であるというのは、中国の論文の遺伝子と似た部分がある遺伝子を検出したということに過ぎない。少なくとも、PCR検査でわかるのは、その程度であるという共通認識は必要であろう。